

人の一生をはりきりてを遠く行くに急ぐ可からず

[illegible]

世の多くの婦人は、
子宮病に
治療を誤て居る。
一、概して子宮病と云ふ其種類は随分多
く從つて治療法も種々あるが一般婦人
の自宅治療を見るに其大體手裏で服
薬に厭だ洗濯を見るに其大體手裏で服

三井物産株式會社
藤本秀次郎
辱知各位
千葉縣銚子町

に謂ゆる内地二十五年前の手紡ざ式にして一反の麻布を精成するに二日を費すなりと云ふに至ては如何に際機織の紡織工業計畫の有利にし必用急務なるは獨り予輩の報告を而して後之を知るの迂なるを歎て可らざるを疑ふの一事あるのみ

吉に被せ彼をよめるものに致さる
し段、重た不埒である、恐れさ
伴、悪人へ奉りやすす越へ、
何「ハイ越」その方は身に放し
しもなく、身の災難にて今日や
一たびも拷問を被り、それを忍
は眞に剛なるものである殊に我

に引渡され、
た傳吉は
ものな
上れい
田家へ仰
家は、
家改易、
でなく十數
村、天堂の
自治治法は
減内服藥

都合よく割出した藥、應内服藥の必要なる症狀に用ゐ、外用藥の必要に内服藥を用ゐ、矛盾の首尾をして子孫に傳へ、
婦人のあまは、誠に殘

十 四

年度別	口數	金
三十九年度	八四	二五、五九
四十年度	二、六二	五、六六
四十一年度	三、二二	三、八二
四十二年度	三、八二	一、〇二
年度別	口數	金

中將湯は婦人病一切の内因、白帶、
 首、暈目、の親子は、
 欲すれば詳しと容體を記し、
 順天堂へ申送れ、
 であるが、外用藥、中將球を、
 諸症を同病患者に告曰す、
 症狀を考慮して本劑を用ゆ
 足なる結果を得べし尙詳編
 欲すれば詳しと容體を記し、
 順天堂へ申送れ、
 であるが、外用藥、中將球を、
 諸症を同病患者に告曰す、
 症狀を考慮して本劑を用ゆ
 足なる結果を得べし尙詳編

會同會
七五二番

三十九年度	四六三	六、七三
四十年	四六三	七、五八
四十一年度	四六三	七、五八
四十二年	四六三	七、五八
四十三年	四六三	七、五八
四十四年	四六三	七、五八
四十五年	四六三	七、五八
四十六年	四六三	七、五八
四十七年	四六三	七、五八
四十八年	四六三	七、五八
四十九年	四六三	七、五八
五十年	四六三	七、五八
五十一年	四六三	七、五八
五十二年	四六三	七、五八
五十三年	四六三	七、五八
五十四年	四六三	七、五八
五十五年	四六三	七、五八
五十六年	四六三	七、五八
五十七年	四六三	七、五八
五十八年	四六三	七、五八
五十九年	四六三	七、五八
六十年	四六三	七、五八
六十一年	四六三	七、五八
六十二年	四六三	七、五八
六十三年	四六三	七、五八
六十四年	四六三	七、五八
六十五年	四六三	七、五八
六十六年	四六三	七、五八
六十七年	四六三	七、五八
六十八年	四六三	七、五八
六十九年	四六三	七、五八
七十年	四六三	七、五八
七十一	四六三	七、五八
七十二	四六三	七、五八
七十三年	四六三	七、五八
七十四年	四六三	七、五八
七十五年	四六三	七、五八
七十六年	四六三	七、五八
七十七年	四六三	七、五八
七十八年	四六三	七、五八
七十九年	四六三	七、五八
八十年	四六三	七、五八
八十一	四六三	七、五八
八十二年	四六三	七、五八
八十三年	四六三	七、五八
八十四年	四六三	七、五八
八十五年	四六三	七、五八
八十六年	四六三	七、五八
八十七年	四六三	七、五八
八十八年	四六三	七、五八
八十九年	四六三	七、五八
九十年	四六三	七、五八
九十一年	四六三	七、五八
九十二年	四六三	七、五八
九十三年	四六三	七、五八
九十四年	四六三	七、五八
九十五年	四六三	七、五八
九十六年	四六三	七、五八
九十七年	四六三	七、五八
九十八年	四六三	七、五八
九十九年	四六三	七、五八
第一百	四六三	七、五八

て月田家の
に全快い
身体で傷
前に優る
村の大名
聚れ、傳
に相成つ
と大聞し
け、子宮
腫加答兒
腰加答兒
膝痒、尿
意頻に、
性子宮等
に罹り居
るときは
瘡毒潰の
爲に子宮
を害する
多ゆ故に
本病を預
防

子宮内膜炎の

會相催し
出席被下
は壽町横
候
宵社中

-425-

年度別	口數	金
四十一年度	八、八三三	三、四四六
四十年度	八、八〇九	三、八五四
三十九年度	六、九三二	三、四四四
四十年度	六、〇五二	三、四四一
四十一年度	七、七五七	三、四五一
四十一年度	一、一〇一	一、〇〇〇
四十一年度	一、一〇一	一、〇〇〇

備考 一主として代金引換小冊
にして現金取立は稀少なり

子の夫婦、
 間に出来
 物の後を繼
 引取られ
 右衛門、
 後は親
 吉の家は

子宮の炎症は卵の發育を妨
 も流産となる事多ければ本
 て病根を斷つ事要なり定
 五圓、四十五圓貳圓二十
 五圓、三圓貳圓、本舖
 橋通四丁目振替口座六〇八
 堂です。取次全國各藥店
 ●韓國代理店 京城

川

京義線工事の盛況
本年度鐵道工事の中心點たる京義
の改修工事は最早結氷時期に切迫
を以て其以前に竣工せざれば請
が多額の損害を蒙るに依り先月末
來國苦力を増加し日夜工事を進
居れるが大抵に於ては既に八分通

河原の事惜しむ門、汝をいにし、良人を助けて今日に
傳ひ有難い仕合せでござんす。仙「ハイ越」良人、
傳吉妻せん。伊賀守様のね親殿、

例年
の通
煙突掃除受負
ユストフ振作
フロックコート
新古洋着
新女被布、毛布

三二四番

すの年韓額の而
て頻りに苦力を増しつゝありて盛
り云ふ
大岡政談 越後傳吉
第百八回
對登南陵
結庄左衛門は、最早や天命免

可觀と云ふは、（一）
 其の難い仕合にございます
 時淺與兵衛（二）與「ハイ越」その方さしへ
 汝の助けんため苦心に及びたる段向
 汝の義徳な賞め置きた相成る
 い仕合せにございます 越（三）甚だ
 三右衛門、大儀であつた 其（四）へ
 有難い仕合せにございます
 司の者請ひなし、起て

院
二五番
救護店
院長診察 每日午前
胃腸病
院長診察 每日午後

院

迅速確實に御

業
既製洋服御小貞
歸官衙貸用達

大坂野村徳七代理店



世の多くの婦人は

子宮病

治療を誤て居ないか

一般に子宮病と云ふも、其種類は随分多
く從つて治療も殊々あるが一般婦人
の自宅治療を見るに甚だ勝手氣儘で服
藥に厭だの流弊は頻倒に、さし藥は因
るの病源を考へ藥を適用せず、自己の
都合よく物出して藥を濫用する、爲
に内服藥の必要なる症状に向て外用藥
を用ひ、外用藥の必要に内服藥のみぞ
を用ひ矛盾の治療をして子宮病の不治
を囑ふ婦人の多きは誠に残念である

村順天社の自宅治療法は一藥萬能主義
でなく十數種の加減内服藥と數種の外

服藥とを合せ、體有本國產全般藥材本社
門出資婦科の迄に可申上國產藥は出藥
年續仕價紙上可申上之不思惡意致下度
三井物產株式會社
藤木秀次郎

千葉源鉄子町
釀造元岩崎重次郎

最良豆醬
錄登

十山

であるが、服用中、將球を使用すべき諸症を同病患者に告白す。幸に自己の諸症を考慮して本劑を用ひれば必ず満足なる結果を得べし尙詳細を知らんと欲すれば詳しく答覆を記して本報津村順天會へ申されし。

中將球は婦人病一切の内服藥にて中將球は子宮内膜炎と白帶赤帶を治しける。子宮癌腫、子宮加答兒、陰炎、陰加答兒、子宮癰腫、子宮臭、子宮腫痛、惡念頻生、月經時の疼痛、子宮性子宮病等に特効あり殊に良人の痼疾に難く居る時は集毒の爲め心付かざる内に子宮を害する多ゆれば常に中將球を使用し其の預防せしむるに不症症と流産、子宮内膜炎の分泌物及び

油
標商

京城本町壹丁目
發賣元 三巴商會
電話七五三番

生花大會
山町二月三日四日の兩日於
三先御流生花秋期大會相惟下
候間上候御希望せし御出相被下
度願上候御望の方は寺町橋
井方へ御申込被下度候

發起者 金冷齊社中

貸家

子宮の炎症は卵の發育を妨げ、娠するも流産となる事多ければ本藥を使用し
て病根を斷つ事要なり定價百二十個
五圓、四十五個貳圓、二十個壹圓九角
五十錢、三個貳圓、本舖に東京日本
橋通四丁目抜替口壹六八番津村順天
社より取次各縣各店
●韓國代理店 京城 新井藥房

古着、古道具、
雜貨、疊建具、
賣買所

京橋永樂町二十號
電話 二四〇七番

城南町二丁目山手延家五七番
皆川

例年
の通
コルフ
煙突掃除受
賃
漢
城
律
生
社
京
誠
本
町
七
丁
目
電
三
四
番

開
店
廣
新
古
女
被
布
荷
洋
服
着
價
正
本
月
中
五
番
丸
福
號
京
誠
本
町
六
丁
目
五
十
番
丸
福
號
京
誠
本
町
六
丁
目
五
十
番
丸
福
號
京
誠
本
町
六
丁
目
五
十
番

院長診察 每日午前
至正午
龍山元町二丁目（電話一〇八番）

胃腸病診療

龍山郵便局北隣（電話四〇八番）

佐藤病院出張所

坂野村徳七代理店
田中友

大響音器●葉卷埃及●洋酒類新荷着

歐米雜貨洋酒食品

直輸入商

漢城美術品製作所製出品特約販賣所

本誌

屋

支店電話二四八

支店電話三六八

●東京電報●

●兩院と玉座問題●

●觀兵行幸仰出●

●大浦農相演說●

●兩改正案閣議●

●小村外相快慰●

●東京市歡迎會●

●都邑金利平均●

●觀光團京都着●

●銀行家財政評●

●關妃追悼式舉行●

●大隈米電報●

●仁米米電報●

●關妃追悼式舉行●

●大隈米電報●

●仁米米電報●

●關妃追悼式舉行●

●大隈米電報●

●仁米米電報●

●關妃追悼式舉行●

●大隈米電報●

●仁米米電報●

●關妃追悼式舉行●

●大隈米電報●

●仁米米電報●

●關妃追悼式舉行●

●大隈米電報●

●仁米米電報●

●關妃追悼式舉行●

●大隈米電報●

●仁米米電報●

●關妃追悼式舉行●

●大隈米電報●

●仁米米電報●

●關妃追悼式舉行●

●大隈米電報●

●仁米米電報●

●關妃追悼式舉行●

●大隈米電報●

●仁米米電報●

●關妃追悼式舉行●

●大隈米電報●

●兩院と玉座問題●
●觀兵行幸仰出●
●大浦農相演說●
●兩改正案閣議●
●小村外相快慰●
●東京市歡迎會●
●都邑金利平均●
●觀光團京都着●
●銀行家財政評●
●關妃追悼式舉行●
●大隈米電報●
●仁米米電報●

●關妃追悼式舉行●
●大隈米電報●
●仁米米電報●
●關妃追悼式舉行●
●大隈米電報●
●仁米米電報●
●關妃追悼式舉行●
●大隈米電報●
●仁米米電報●
●關妃追悼式舉行●
●大隈米電報●
●仁米米電報●

●大隈米電報●
●仁米米電報●
●關妃追悼式舉行●
●大隈米電報●
●仁米米電報●
●關妃追悼式舉行●
●大隈米電報●
●仁米米電報●
●關妃追悼式舉行●
●大隈米電報●
●仁米米電報●
●關妃追悼式舉行●

●仁米米電報●
●關妃追悼式舉行●
●大隈米電報●
●仁米米電報●
●關妃追悼式舉行●
●大隈米電報●
●仁米米電報●
●關妃追悼式舉行●
●大隈米電報●
●仁米米電報●
●關妃追悼式舉行●
●大隈米電報●

●奉祝天皇節●
●大提灯行列●
●奉祝天皇節●
●大提灯行列●
●奉祝天皇節●
●大提灯行列●
●奉祝天皇節●
●大提灯行列●
●奉祝天皇節●
●大提灯行列●
●奉祝天皇節●
●大提灯行列●

●奉祝天皇節●
●大提灯行列●
●奉祝天皇節●
●大提灯行列●
●奉祝天皇節●
●大提灯行列●
●奉祝天皇節●
●大提灯行列●
●奉祝天皇節●
●大提灯行列●
●奉祝天皇節●
●大提灯行列●

●奉祝天皇節●
●大提灯行列●
●奉祝天皇節●
●大提灯行列●
●奉祝天皇節●
●大提灯行列●
●奉祝天皇節●
●大提灯行列●
●奉祝天皇節●
●大提灯行列●
●奉祝天皇節●
●大提灯行列●

●奉祝天皇節●
●大提灯行列●
●奉祝天皇節●
●大提灯行列●
●奉祝天皇節●
●大提灯行列●
●奉祝天皇節●
●大提灯行列●
●奉祝天皇節●
●大提灯行列●
●奉祝天皇節●
●大提灯行列●

●奉祝天皇節●
●大提灯行列●
●奉祝天皇節●
●大提灯行列●
●奉祝天皇節●
●大提灯行列●
●奉祝天皇節●
●大提灯行列●
●奉祝天皇節●
●大提灯行列●
●奉祝天皇節●
●大提灯行列●

●奉祝天皇節●
●大提灯行列●
●奉祝天皇節●
●大提灯行列●
●奉祝天皇節●
●大提灯行列●
●奉祝天皇節●
●大提灯行列●
●奉祝天皇節●
●大提灯行列●
●奉祝天皇節●
●大提灯行列●

●奉祝天皇節●
●大提灯行列●
●奉祝天皇節●
●大提灯行列●
●奉祝天皇節●
●大提灯行列●
●奉祝天皇節●
●大提灯行列●
●奉祝天皇節●
●大提灯行列●
●奉祝天皇節●
●大提灯行列●

●奉祝天皇節●
●大提灯行列●
●奉祝天皇節●
●大提灯行列●
●奉祝天皇節●
●大提灯行列●
●奉祝天皇節●
●大提灯行列●
●奉祝天皇節●
●大提灯行列●
●奉祝天皇節●
●大提灯行列●

道樂

橫濱市境町
合資社會友商店
振替口座東一三九八番
前京本町郵便局
朝鮮代理店
山岸天佑堂
振替口座鮮二〇三番
電話七三二番

島商店
（番四十四百五千話）

絨樂町二丁目
田靴店

引賣出

二月二日

-427-

<p>村</p>	<p>金華園</p>	<p>大花壇</p>	<p>店酒田前</p>
----------	------------	------------	-------------

1


會席料理 大勉強
京城水樂町三丁目
酒道樂
電話一二七六番

新案

和洋古物各種
元大正己大
堅牢、廉價、山字西鐵

町本城京
一元
店商原榮
番三八四話電

元曲張店


 刷 印
 諸 紙
 和 洋 帳 簿
 印 刷
 各種 製 本
 諸 官 衙 御 用
 播 本 商 店
 京 城 本 町 六 丁 目
 電 話 百 拾 五

京城東大門內三丁目二番戶 池田商會出張所
電話長七九番振替口座二四七
印章 彫刻 京城本町四丁目
赤帽子號印舖
電話九三番
諸官衙御用達 奥野岩太郎

仁川港海岸通
 (電話四一九)
柴田回漕店
 美江
 公州
 美江發 每日發一降
 公州發 每日前七時
 (客者共御取振可申候)
 御用向、御方々 (京城、江島、致院、急行、接續、方面、行)